

平成 22 年 12 月議会諸般の報告

(愛宕山用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望について)

諸般の報告として、愛宕山用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望について、御報告させていただきます。

まず、本年度、国において買取予算が計上された愛宕山地域の4分の3の区域における施設配置案につきましては、防衛副大臣が9月3日に私及び市議会正副議長に対して、また、同月7日に市議会全員協議会においてそれぞれ説明され、また、同月25日から3日間にわたっては、中国四国防衛局長から岩国市民に対して直接説明がありましたことは、皆様ご案内のとおりでございます。

国からの説明では、岩国市には特段の取り扱いとして、身分証等のチェックなしで運動施設エリアへ原則自由に立ち入り出来ることや、更に、家族住宅については、全体の4分の3程度を岩国基地内に整備し、残りの4分の1程度のみを愛宕山用地に整備することなど、一定の評価が出来る部分もございました。

しかしながら、運動施設やコミュニティセンターの具体的な規模等は調整中とのことであり、私としても国と調整すべきことがあるように感じておりましたので、9月の住民説明会から2ヵ月が経ちますが、この間、市として、市議会・市民等のご意見・ご要望等を踏まえつつ、運動施設等の規模等について、検討を行って参ったところでございます。

その検討の結果、このたび、愛宕山に整備される運動施設等として望ましい規模等を取り纏めることが出来ましたことから、先週の24日でございますが、防衛省及び外務省に行きまして、北澤防衛大臣及び安住防衛副大臣、並びに山花外務大臣政務官に対して、次の4項目について要望をして参ったところでございます。

一つ目は、野球場の規模等は、高校野球の公式競技が行える球場として整備すること。

二つ目は、400mトラック・フィールドとサッカー場を併せた陸上競技場を整備すること。

三つ目は、バスケットボールコート及びバレーボールコートは、一定数を屋内施設として整備すること。

そして、最後に四つ目は、コミュニティセンターは、日米交流が十分可能な多様な機能を整備すること。

でございます。

防衛大臣からは、「市民にとって良いものが出来たと思われるように、努力してまいりたい」、副大臣からは、「市からの要望事項については、

極めて重要な課題だと認識しており、今後とも、市と連携しながら、地元の意向に沿うよう最大限努力していく」旨の発言がございました。

愛宕山用地における施設配置案につきましては、一定の評価をするものであり、私としては、先週 24 日の愛宕山用地における運動施設等の整備に関する要望に対して特段の対応が図られるのであれば、了とするのもやむを得ないと考えているところでございます。

なお、利用形態等につきましては、今後、さらに国に確認してまいりたいと考えております。

また、従来から要望しております、安心・安全対策、地域振興策及び海上自衛隊航空部隊の岩国残留についても、具体的な取組が円滑に進められるよう重ねて要望を行ったところでございます。

このうち、安心・安全対策については、外務大臣政務官からは、「航空機の運用時間の短縮については、大臣にもしっかりと伝え、要望に沿えるよう努力してまいる」との発言がございました。

以上、愛宕山用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望について御報告をさせて頂きましたが、今後とも引き続き、国との調整に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。